



# からしだね

2013年  
6月号(484号)

キリストの受難  
カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・染野治雄神父  
協力司祭: デニス・マックゴワン神父  
住所: 〒563-0041 池田市満寿美町9 - 26  
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624  
URL(ホームページ) :  
[http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic\\_ikeda/](http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/)



巻頭言 .....	2	侍者入会式 .....	3
ガラスケースの言葉 .....	3	総務委員会から .....	4
財務委員会から .....	5	王神父様池田教会訪問 .....	5
母の日のミサ .....	6	日曜学校の先生の任命式 .....	6
からしだね俳壇 .....	7	宝塚黙想の家から .....	8
広報委員会から .....	8		

表紙写真：長崎県平戸市 田平天主堂 撮影：神崎 茂

聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です  
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

巻頭言

## 子供の心に導かれて信仰の山、 エベレストの頂上を目指そう

畠 基幸神父

毎日曜のミサの朗読の終わりに、侍者の子供が声高に「神に感謝！」と唱えると、皆さまも信者席から子供の声に誘発されて応唱します。語られたみ言葉に信仰の従順をもって応えること。 - シナイ山でモーセが主の言葉とすべての法を民に読み聞かせると、民は皆、声を一つにして答え、「わたしたちは、主が語られた言葉をすべて行います」と言った。(出エジプト24章3節) - その核心には、「信じる」という人間の人格的な行為が伴っています。旧約においてアブラハムの、新約においてマリアの信仰が、カテキズムには信仰の模範として示されるほど重要な行為ですが、子どもはどこまでも無邪気に応答できるのを見て、わたしたちは、信仰のあこがれを素直に表明できる子供の心にうれしくなるのです。

「信じる」ことのハードルの高さは、神を信じることはできても、イエスはキリストであると信じ、告白することにあると思います。わたしたちと同じように地上に住んだ人間イエスを神であると告白することはかなり困難なことなのです。この点は、ユダヤ人がイエスを神の子と信じることに困難を感じたことに似ています。唯一の神を信じ、偶像を信じないのがユダヤ教です。神を信じることは、神への道しるべとなる律法を守ることでありました。イエスの神性を告白することは、偶像を信じることになるように思われたことでしょう。信仰の最高峰エベレストに到達することと同じようなものかもしれません。80歳になっても努力してエベレスト山頂に立った三浦雄一郎さんの人生の目的は完全に成就したのですが、わたしたちの信仰の頂点は、人間的な理解を超えた先にあります。信仰年の発布から、カトリック信仰の要点をまとめたカテキズムを勉強し始めたわたしたちは、クレド(使徒信条)の第二部にようやくたどり着いたところです。古代の教会の信仰の取り組み、キリストの神性を告白し、かつ人性を保たねばならないこの難問の解き明しは人間のことばで表現されたのです。ヨハネの福音は、はじめからイエスの神性をあかしするような福音書として、「信じることは、キリストを信じること」であるとわたしたちをキリストへの信仰に導いてくれます。しかし、ヨハネ自身は、生身のユダヤ人イエスを知って、なおかつキリストとして認めるに至ったのはどうしてなのでしょう。すごい飛躍があるでしょう。彼は、パウロもそうなのですが、ユダヤ教の中で最高の教育を受けていた形跡があり、律法を完全にマスターしていたのです。だからわたしたち以上にイエスが神の子であり、キリストの神性を信じることは難しかったはずですが。パウロもヨハネも、復活したイエスに出会うことによって、「イエスは主である」ことを信じるようになりました。この感動をヨハネは福音書の冒頭に書いています。「いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである(ヨハネ1章18節)」。初代教会の福音宣教の要は、「イエスは主である」ことを告げることでしたが、その際、使徒たちは、イエスが死んだこと、そして復活したことを証言の要としています。わたしたちの罪のために死んで、そしてわたしたちを義とするために復活されたのだと証言したのです。その実りとして、聖霊が世に派遣されたことを証ししました。「聖霊によらなければ、誰も『イエスは主である』とは言えないのです(1コリント12章3節C)」。復活したイエスに出会ったパウロは、聖霊についてかなり多くのことを語っています。復活したイエスに出会ったパウロの体験は、聖霊の体験でもあったからです。聖霊体験とは、死んだ人の幽霊のようなイエスに出会うことではなく、「神の愛がわたしたちの心に注がれた(ロマ5章5節)」ことの体験であり、それは、聖霊降臨の時に実現した新しい契約の実現、つまり、心に刻まれる律法であり、内面から御父の愛を知り、聖霊の心に導か



れて生きる新しい人となることです。これによって信仰の世界は開かれます。洗礼を受けていても、古い生き方をしていれば、信仰の恵みはわからなくなることでしょう。

今年の課題は、みことばが皆様の日常の中で生きた言葉になるように願っています。みことばがわたしたちの生活のインスピレーションとなるためには、復活したイエスを信じて行うことが前提になります。それは、自動的に与えられるよりは、侍者の子供が朗読されたことばに「神に感謝」と声高に応えることから始まります。だからでしょう。信じることは、神を信じるという抽象化された概念ではなく、みことばを信じる、キリストを信じる内容の体験であり、礼拝であり、賛美であり、感謝であります。すなわち、生きておられる三位一体の神の内的な体験、それは、具体的なイエスの愛のことばやイエスの愛の業を見ないで信じて行うことから始まります。評議会課題としたことは、各委員会の活動を表現する具体的な神の愛を表現することばを選んで祈りましょうということでした。そのみ言葉の力や働きの反映が小教区の活動の中で生きた主との出会いの体験になるように願っています。



## 侍者入会式 おめでとうございます！



4月28日に、  
侍者入会式が  
おこなわれました。



## 6月ガラスケースの言葉

互いに愛し合いなさい  
私があなたがたを愛したように

ヨハネ13・34



## 総務委員会から (お知らせとお願い)

レターケースの名前のシールの張り替えと整理を  
近日中に行う予定にしております。  
レターケースの中に私物を入れておられる方は、  
お持ち帰りください。

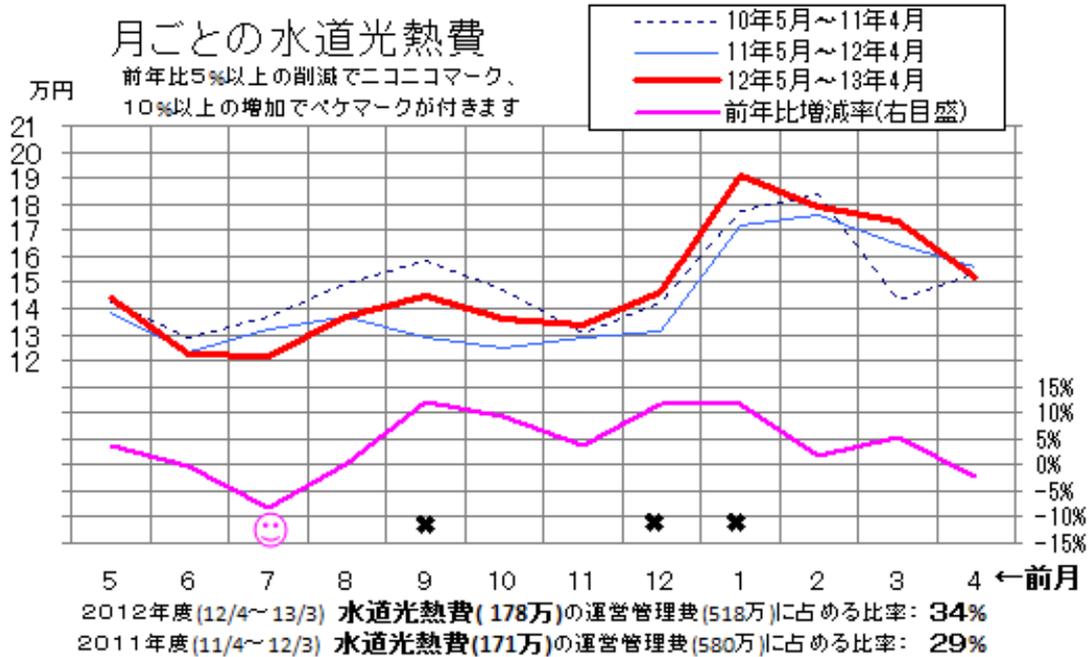


## 財務委員会から

### 4月度の光熱費

電気代 111,748円 ガス代 21,468円 水道代 37,348円 (2ヶ月分)

### 直近1年間の光熱費の推移



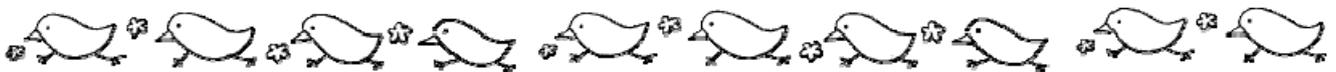
4月度は前年比マイナス2パーセントでした。

電気代が5月からは値上げになっています。より一層の節電をお願いいたします！

- ・不要の電燈はこまめに消しましょう。
- ・暑くなってきましたから、トイレの暖房便座は消しましょう。
- ・冷房を入れるときには、設定温度が28度になっているか確認してください。

また、タイマーの設定は解除しないでください。2時間で切れますが、必要ならまた入れてください。万一消し忘れた際に、とんでもないコストがかかることがあります。もちろん、消し忘れにはご注意ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします！



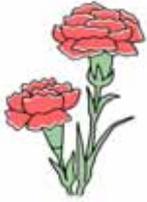
## 王神父様 池田教会訪問



5月19日に韓国から御受難会の王神父様がいらっしゃいました。

デニス神父様と松本神父様と共にミサが行われ、聖霊降臨を祝いました。





# 5月12日 母の日ミサ

お母さんに感謝の気持ちを込めて



# 5月12日 日曜学校の先生の任命式





## 宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。  
黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。  
宝は大事にしたいですね。

### 日帰り黙想会

6月20日(木) 10:00～15:30 指導：山内十束神父 費用：3,300円  
6月21日(金) 10:00～15:30 指導：山内十束神父 費用：3,300円

### 一泊黙想会

6月29日(土) 17:00～30日(日) 15:30 指導：ウオード神父 費用：8,800円

申し込みは、黙想の家まで TEL . 0797-84-3111

## 広報委員会から

池田教会の「ミサの典礼と聖歌」のページが、スマートフォン対応になりました。いつでもどこでも、聖歌の練習が出来るようになりましたので、是非、ご活用ください。

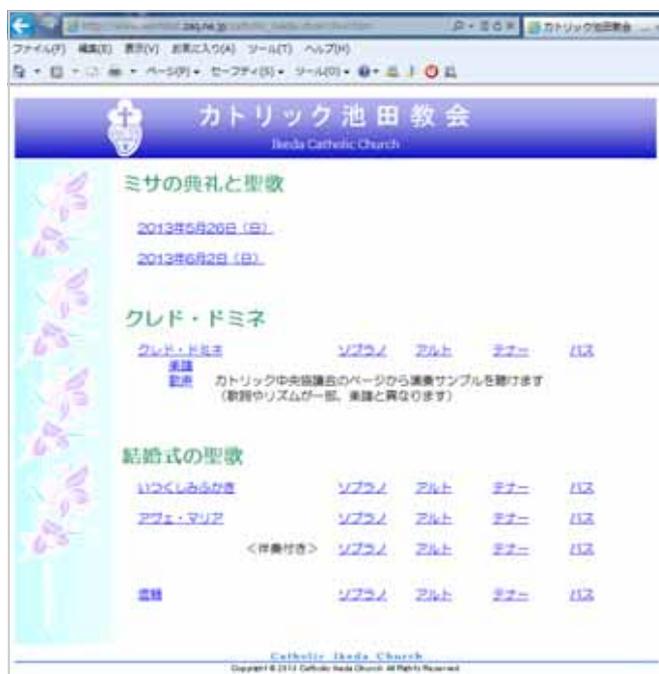
なお、「ミサの典礼と聖歌」のページは、池田教会のホームページからはリンクがかかっていませんので、下のQRコードをスキャンするか、下記のURLを手で入力してください。

[http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic\\_ikeda/choir/choir.htm](http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/choir/choir.htm)

このページを閲覧した際に、お気に入りに登録しておくくと便利です。



「ミサの典礼と聖歌」のページ  
QRコード



## 編集後記

ふらりと入った書店で、新書版の本が目についた。今年の春に出版されて、もう3版を重ねている。長谷川修一著の「聖書考古学」だ。難しそう、と一瞬思ったが、「聖書」という言葉には弱い。薄っぺらな本だから、大丈夫、読めるよ、と自分に言い聞かせて、買い求めた。考古学の立場から言うと、遺跡の発掘や碑文、聖書以外の書物などから、旧約聖書の物語が史実であることを示す証拠はこれまでのところ、ほとんど何も発見されていないらしい。モーゼもダビデ王もその存在を立証できない、とあった。しかし、だからと言って、それは旧約聖書の豊かさを否定するものではない。デニス神父様が教えてくださったように、聖書は宝の山であり、それを自分が骨を折って掘り起こすことで、何にも代えがたい信仰を手に入れることができるのだ。

(ソフィー)